

令和 2 年度 第 1 回 新潟市子ども・子育て会議 幼保部会
会議概要

開催日時	令和 2 年 8 月 4 日（火）午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 3 0 分
会 場	新潟市役所分館 6 階 1 - 6 0 1 会議室
出席委員	小池委員、斎藤委員、志賀委員、平澤委員、平田委員（欠席 1 名）
事務局等出席者	こども未来部長、保育課長ほか同課職員 8 名
傍聴者	なし
議事内容	<p>【議事】</p> <p>（1） 令和 3 年度に新設等を予定する特定教育・保育施設等について ○事務局より、令和 2 年度に新設等を予定している施設、認定こども園への移行施設、および定員を変更する施設について説明をしました。また、既存園の定員変更について、基本的な方針を説明し会議の意見を聴取しました。</p> <p>○委員からは主に次の質問がありました。 <教育・保育の量の過不足について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 号の利用定員が増えているように見えるが、私学助成幼稚園を含めると市全体として教育部分の定員は増加していないということか。 <p>→お見込みのとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 1 - 3 中において、0 歳児のように過不足が正の数となっているものは、見込みよりも定員数が不足しているということか。 <p>→定員数が不足していると、過不足の値は 1 歳児と 2 歳児のように負の数となる。0 歳児や 3～5 歳児のように正の数となっているものは、利用数に対して定員数の方が多いということを表す。</p> <p>○（1）については、「意見なし」として議事を終了しました。</p> <p>（2） 令和 4 年度に新設等を予定する特定教育・保育施設について ○事務局より、令和 4 年度に新設等を予定している特定教育・保育施設について説明し会議の意見を聴取しました。</p> <p>○委員からは主に次の意見・質問がありました。 <休日保育について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日保育は全市的に供給が追い付いていない状況がある。新設等により実施園は増えるようだが、未だに実施する園が増えない区については、どのように対応していくのか。市立園での実施も検討してもらい

たい。

→令和4年度以降の建設費補助金については、休日保育を実施する園を優先的に補助し、実施園を増やしていきたい。

・現在は、特定の園に実施の負担がかかっている状況。令和2年度から対象となった輪番制（共同実施）等が行われるよう取り組みをお願いしたい。

→実施園に負担がかかっている状況は理解しており、未実施園にも休日保育への協力をお願いする説明会等を実施している。病児保育なども含め、特定の園に負担がかからないよう、他園への状況の周知を行っていきたい。

<施設整備の方針について>

・1号認定や2号認定の定員数が足りている中で、なぜ新設や増改築による新たな定員の拡大が必要になるのか。

→令和4年度の新設等の候補については、現時点で事業者から上がってきた希望をそのまま掲載している状況であり、必ずしもこのとおり整備するわけではない。市としての方針と照らして今後調整していく。

・子どもの数が減少する中で、定員が不足しているのは3号認定の1歳児および2歳児のみである。不足している年齢に特化した保育施設を整備する必要があるのではないか。事業者の意向を尊重する考えも理解できるが、むやみに定員拡大をするのではなく、調整してほしい。

→現在の保育ニーズは右肩上がりであるが、人口減少もあり、ピークは近いと考えている。増加一辺倒にならないよう、市立園の閉園や小規模保育事業の活用等が今後の課題ととらえている。

○（2）については、以上を会議の意見として決定しました。

（3） その他

○市立保育園配置計画の進捗状況について報告をしました。